

令和7年度 学校だより

令和7年12月11日発行

# 若草もゆる

【学校経営の基本方針】

生徒の『よさ』を認め、發揮し、自己肯定感を育む



## 第32号

南城市立佐敷中学校

特設授業「助けられること 助けること ともに生きるってどういうこと？」

## 気づくことで見える世界が変わる

～ 2回目の世界一周の旅へと自身を奮い立たせる原動力を語る～

12月10日(水)の1校時に、車椅子トラベラーの三代達也さんを講師にお迎えして、「助けられること 助けること ともに生きるってどういうこと？」のテーマで、特設授業を実施しました。車椅子での世界一周の旅を通して、多くの「出会い」「気づき」「学び」が自分の人生を変えるきっかけになったことなど、軽快な口調で伝えてくださいました。講話の途中にクイズを入れたり、質問に応じるなど、三代さんのお話に聴き入る生徒の姿がありました。とても、有意義な時間を過ごすことができました。最後に、全校生徒を代表して、生徒会ボランティア委員長から三代さんのお話を聴き終えて率直な感想(お礼の言葉)を述べました。三代さん、ご講話いただき誠にありがとうございました。

### お礼の言葉

私達は、今まで不自由なく生活してきた、障がいをもっている方々がどんな困難を抱えているのか、想像もできなかつたですが、三代さんのお話から周りの人達の理解がないことが一番辛かったことと聞いて、衝撃を受けました。相手が何をして欲しいのかをしっかりと理解して、相手の立場で物ごとを考えることが大切だと思いました。これからは、相手の状況に応じて勇気を出して、積極的に行動したり、前向きに取り組んでいこうと思います。



全校生徒を代表して、三代さんに講話を聴いての感想と、お礼の言葉を述べる生徒会ボランティア委員長

「知覚動考」の言葉に  
込められた三代さん  
の思いは、全校生徒  
にしっかりと伝わっ  
ています。



## 島尻地区中学校新人バレー部大会 合同女子バレー部 優勝

12月7日(日)に島尻地区中学校新人バレー部大会が開催され、知念・佐敷合同女子バレー部が見事優勝しました。本校と知念中学校の女子バレー部が合同で挑んだ今回の大会では、両方の部の強みを最大限に發揮して、優勝を勝ちとることができました。当日、応援に駆けつけてくださった佐敷中、知念中の保護者の皆様、ありがとうございました。〔写真提供：知念中学校〕



優勝し笑顔で写真撮影に応じる合同女子バレー部

## 舞台・展示で成果披露



### 第31回沖縄県中学校総合文化祭



12月6日(土)、浦添市アイムユニバースでだこホールで行われた県中文祭「舞台の部」「展示の部」に、本校から多くの生徒が出演・出品しました。「舞台の部」では、午前中におこなわれたオープニング「歌三線合奏」において、県内34校・総勢113名中、本校から4名の生徒が三線を担当しました。また、「吹奏楽」では、18校・総勢54名の吹奏楽団を結成し、本校吹奏楽部から5名の生徒が出場し、楽曲を披露しました。「展示の部」では、16名の生徒が夏休みの課題「社会科新聞」を出品し、また、美術部の活動で取り組んだ3名の生徒の作品も出品、展示されました。